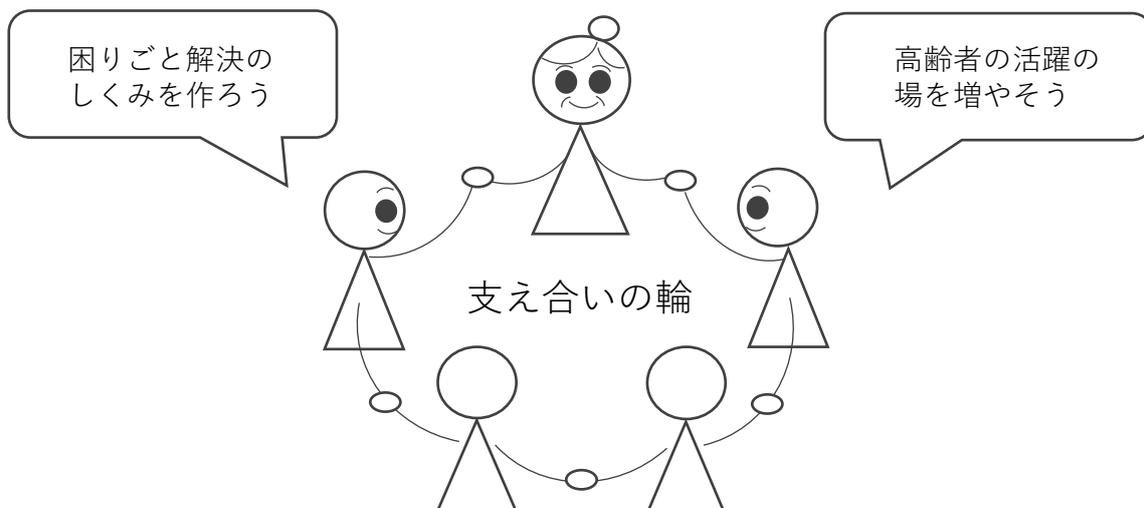


生活支援協議体の手引き

地域に支え合いの輪を広げるために

- 1) 生活支援体制整備事業とは
- 2) なぜ生活支援体制整備事業が必要なのか
- 3) 生活支援協議体とは
- 4) 第2層と第1層の役割
- 5) 生活支援コーディネーター（SC）とは
- 6) 第2層協議体のメンバーの皆さまへ

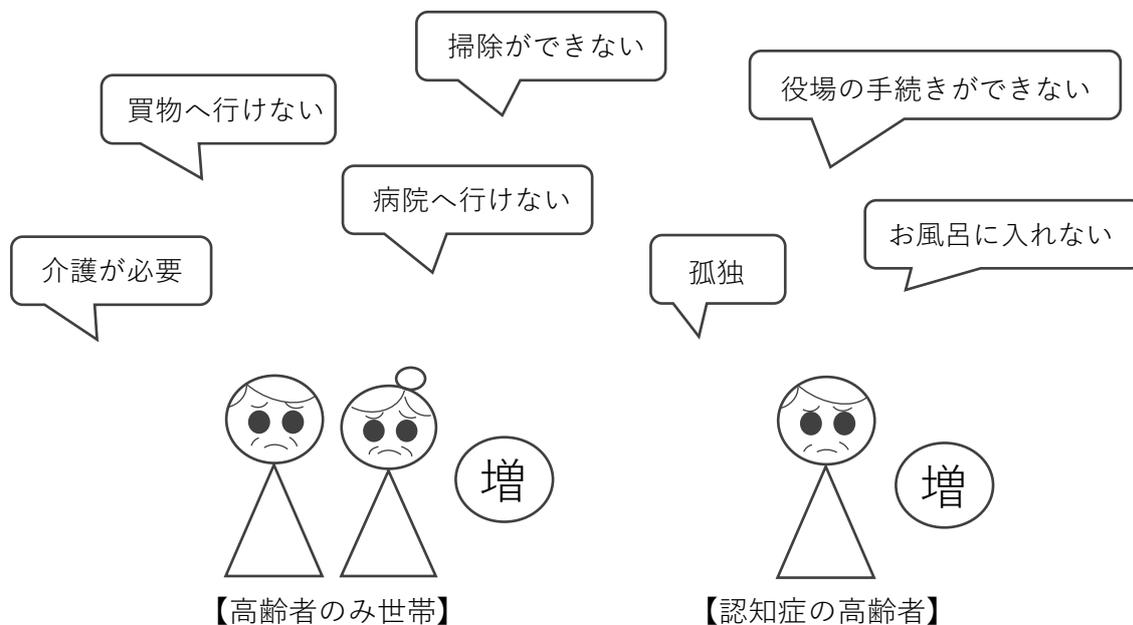
1) 生活支援体制整備事業とは...



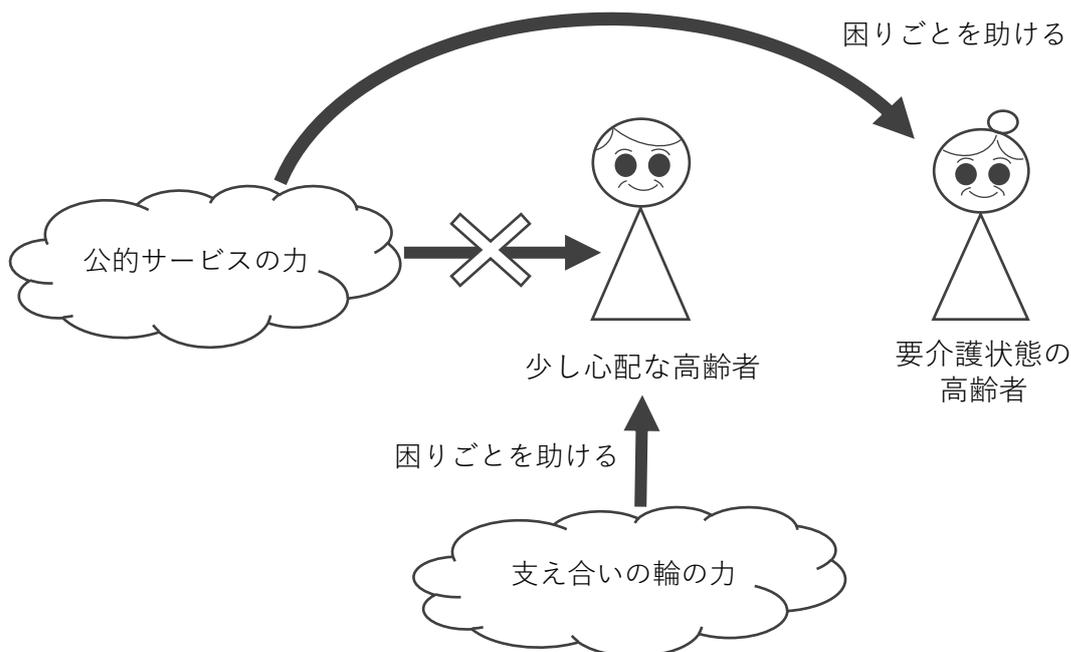
地域で暮らす高齢者のために、地域に支え合いの輪を広げていく事業です。

高齢者の日常生活での様々な困りごとを解決するための仕組みを作ること、また、高齢者の活躍の場を広めることを目標としています。そのために、生活支援協議体と生活支援コーディネーターの働きを使いながら、地域の住民や各団体、企業など様々な人々が連携して取り組みます。

2) なぜ生活支援体制整備事業が必要なのか...

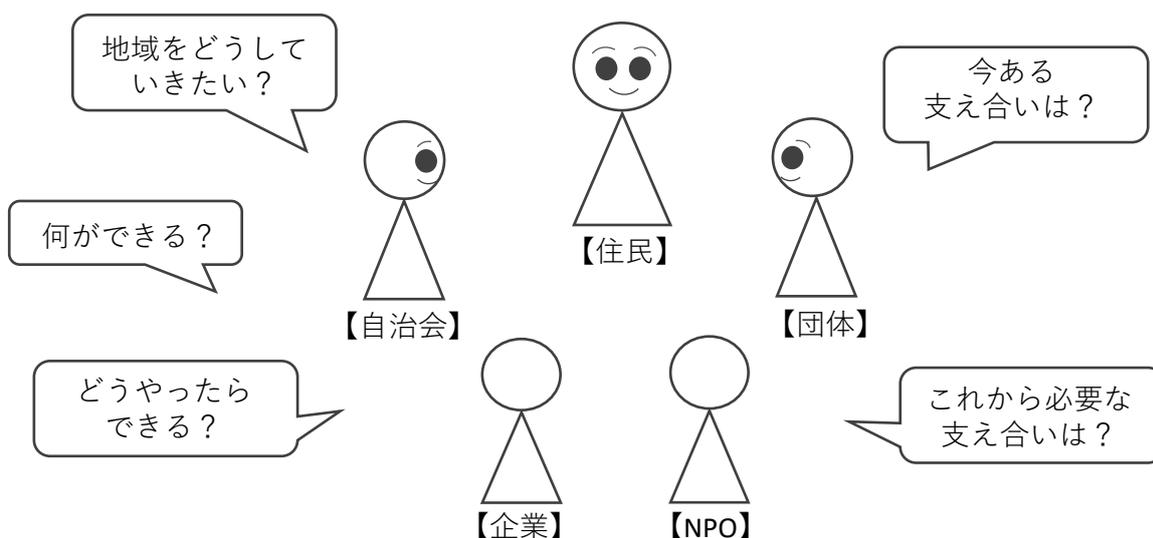


今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年や、高齢者数がピークに達する2040年に向け、高齢者のみで生活する世帯や認知症高齢者が増加すると考えられています。それに伴い、高齢者が生活を送っていく上での困りごと（ニーズ）も急増すると予測されます。



限りある公的サービスの力は要介護状態の方々にそそぐ必要があり、介護の予防にあたる方々へのサービス提供まで賄いきれません。そこで、公的なサービスでは賄いきれない部分へ対応するため、地域での支え合いが今まで以上に必要となってきます。生活支援体制整備事業では、地域に支え合いの輪を広げることで、高齢化によって発生する課題に対応していきます。

3) 生活支援協議体とは...



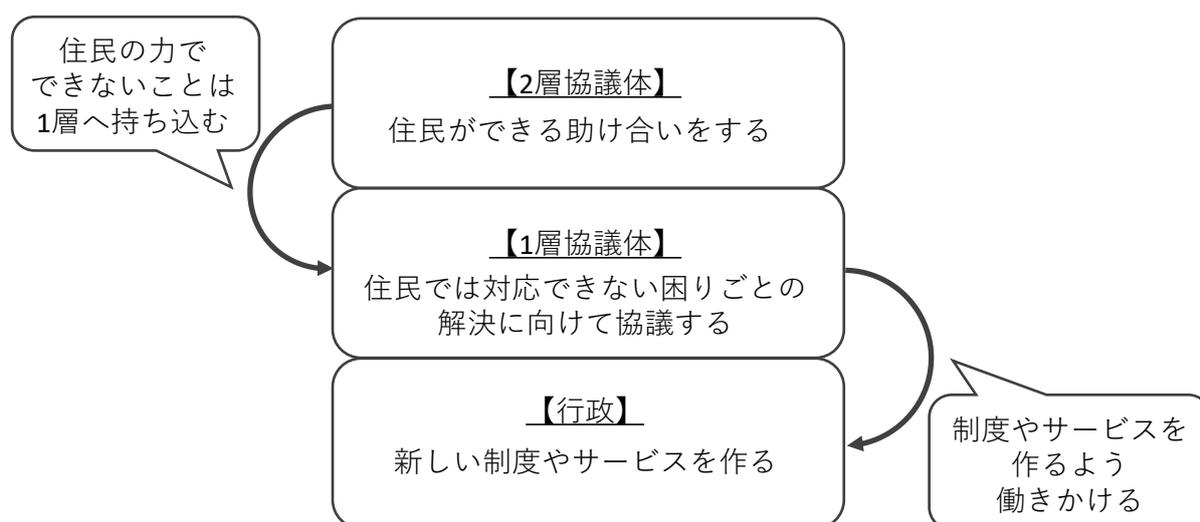
地域に支え合いの輪を広げていくために、地域住民同士で話し合う場。地域に住む人、地域にある企業や団体など、地域を良くしたい思いのある方に参加していただき、「地域をどうしていきたいか」「地域で行われている支え合い活動、地域に必要な支え合い活動について」「地域に必要な支え合い活動のうち、何が出来るか、どうやったら出来るか」などの思いの実現に向けて話し合う場です。

4) 第2層と第1層の役割...

	第2層	第1層
対象地区	中学校区 (北高根沢中学校区、阿久津中校区)	町内全域
メンバー	地域への想いをもつ住民	医療や介護、福祉、地域づくり等に 係る町内各種団体の関係者
目的	地域に支え合いの輪を広げる	
やること	住民が何をするか、どんな仕組み があると良いかを考える	2層協議体の目指す活動や仕組み が実現できるよう、行政と連携して サポートし、体制を整える

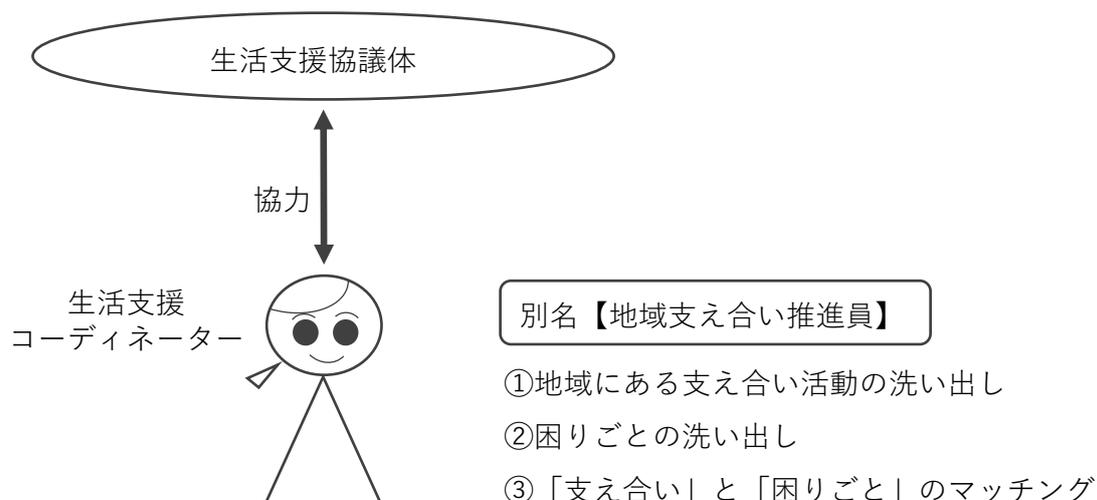
第2層生活支援協議体は、中学校区を対象としています（北高根沢中学校区、阿久津中校区）。メンバーは、地域への想いをもつ住民です。地域に支え合いの輪を広げるために、住民が何をするか、どんな仕組みがあると良いかを考えていきます。

第1層生活支援協議体は、町内全域を対象としています。メンバーは医療や介護、福祉、地域づくり等に係る町内各種団体の関係者です。2層協議体の目指す活動や仕組みが実現できるよう、行政と連携してサポートし、体制を整えていきます。



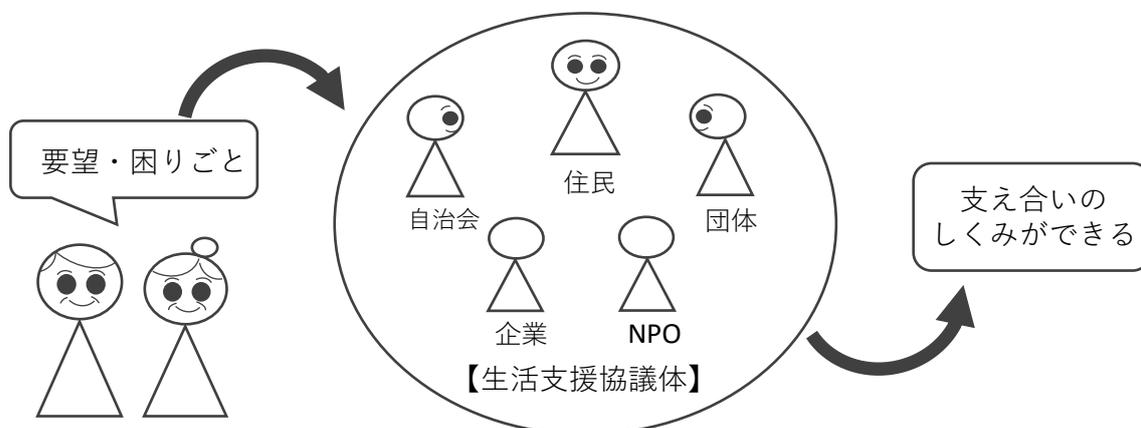
2層協議体は、住民が対応できる困りごとへ取り組みます。例えば、見守りやゴミ捨て、ちょっとした有償ボランティアなど、自分たちの手で解決できるものです。住民では対応できない困りごと、例えば移動支援や配食サービスなどは、1層協議体へ持ち込まれます。1層協議体はそれを協議して、行政にサービスを作ってもらえるように働きかけます。

5) 生活支援コーディネーター（SC）とは...



生活支援コーディネーターは別名「地域支え合い推進員」とも言い、地域で支え合いを推進する人のことです。具体的には、協議体で話し合われた内容をもとに地域で行われている支え合い活動などの資源の洗い出し、困りごと（ニーズ）の洗い出し、支え合い（資源）と困りごと（ニーズ）のマッチングなどを行うことで、生活支援協議体の想いを実現するための活動をする役割です。

6) 第2層協議体のメンバーの皆さまへ



第2層生活支援協議体のメンバーの皆さまにしていきたいことは、地域で暮らして、自分が感じたり人から聞いたりした要望・困りごと（ニーズ）を協議体まで持ってきていただくことです。メンバーで共有し、それを解決するための仕組みを皆で考えていきましょう。そして可能ならば、皆で考えた仕組みを実現させて、一緒に活動してほしいのです。

また、出発点は「高齢者のため」の事業ですが、地域には様々な人が暮らしています。子ども、若者、障がいのある方、子育て中の親、経済的に貧困している方、生きづらさを抱えている方など、様々な状況にある方にとっても暮らしやすい地域を思い描いていただきたいと思います。